

【平成 25 年度・ミクロ経済学 I・課題 1】

☆ 締め切り：平成 25 年 5 月

☆ 表紙には指定のページを使ってください。

【問1】 次の直線の方程式(一次方程式)をグラフに書きなさい。グラフ上にどの方程式のグラフか判るように示すこと。(独立変数には、 X もしくは R を選ぶこと。また、各座標軸の変数を定めること。)

- A) $Y = 3X + 9$
- B) $X = -Y + 8$
- C) $Y = -2X + 5$
- D) $4Q = R + 8$
- E) $5(R - 6) = 3Q$
- F) $12R = 2 - 0.5Q$

【問2】 次の (1)、(2) の連立一次方程式を解き、解を表すグラフを問いごとに描きなさい。

(1)	(2)
$\begin{cases} Y = 18 - 3X \\ Y = 1 + 2X \end{cases}$	$\begin{cases} 3X + 2Y = 5 \\ X - 2Y = 7 \end{cases}$

【問 3】 次の経済学に関する基本用語や考え方を説明しなさい。説明するために必要であれば図や数値例を挙げて説明してもよい。

(1) 希少資源 (2) トレード・オフ (3) 機会費用 (5) 実証経済学と規範経済学
(6) 限界量と限界法則

【問 4】 次の計算を行いなさい。

- A) 水が水道の蛇口から毎分 2 リットルで出ている。最初にバケツに 14 リットルが入っており、そこに 6 分間水を注いだとする。6 分後の水量と最初の水量の間で何パーセント増加したか求めなさい。
- B) $\frac{\left(\frac{5}{12}\right)}{\left(\frac{8}{10}\right)}$ を簡単にしなさい。
- C) $4 : 5 = 15 : x$ であるとき x の値を求めなさい。